



「JT 技報」創刊4号の 発行にあたって

2024 年 12 月
代表取締役社長
鈴木 克彦

昨年度に続き、「JT 技報」創刊4号を発行する運びになりました。このように、「JT 技報」を発行できるのも、お客様方あつての賜物と思っております。社員一同、心から感謝申し上げます。

当社は、再処理工場の運転・保守に対して、日本原燃株式会社と一体となって活動する中核会社として設立されました。現在は、再処理工場のみならず、同社サイクル事業全般において安全・安定運転実現と合理的コストを追求すること、そして地元企業との共生を図ることを、日本原燃株式会社とともに目指しています。そのために一貫して技術力と現場力に基づく実力を蓄え実績を重ねて参りました。

現在の当社は、プラントの運転業務や機械、電気、計装などの保守業務に加えて、設計、エンジニアリングなどのカスタマーサービス、更新設備設置工事、技術習得・訓練に係る装置の開発／訓練センターの運営なども手掛けています。国内外の種々のメーカ殿、工事会社殿とお付き合いさせていただくとともに、地元企業との連携や相互研鑽を進めています。

最近では、原燃サイクル事業における各種事業において培ってきた技術を原燃サイクル事業以外の事業にも展開することを徐々に本格化しています。これにより、更なる技術力向上と顧客サービスに努めていくとともに、新たに培った技術を原燃サイクル事業へフィードバックし、良い技術の循環を成そうとしています。

「JT 技報」は Web ベースでの紹介を念頭に置き、当社が取り組んでいる技術を中心に分かりやすくご紹介することとしています。今年度は特に対象技術の中でも、日本保全学会で発表したものなど、当社の特徴的技術に関わるものに着目したテーマを5件取り上げて、ご紹介します。

当社は『「技術」と「人」で世界を驚かせる ROKKASHO』のビジョンを掲げており、このビジョンの下、これからも、社員一人ひとりの技術力向上に向けた活動と組織が有する技術の蓄積・継承を行うことにしています。加えて、当社固有の技術にも裏付けされたコミュニケーション力をベースに、お客様の発展と当社の躍進に繋がるように、精一杯尽力していきます。

ぜひともこの技報をご高覧いただき、当社 HP の各記事とともに、当社の今を知っていただければ幸いです。